

## 稲沢市 転出する方へのアンケート調査【速報】

### (1) 調査概要

本調査は、稲沢市からの転出者に対し、転出前後での居住地や家族構成の変化、転出理由、転出先の選択理由を把握するために実施する。

調査の概要は下表のとおり。

稲沢市 転出する方へのアンケート調査の概要

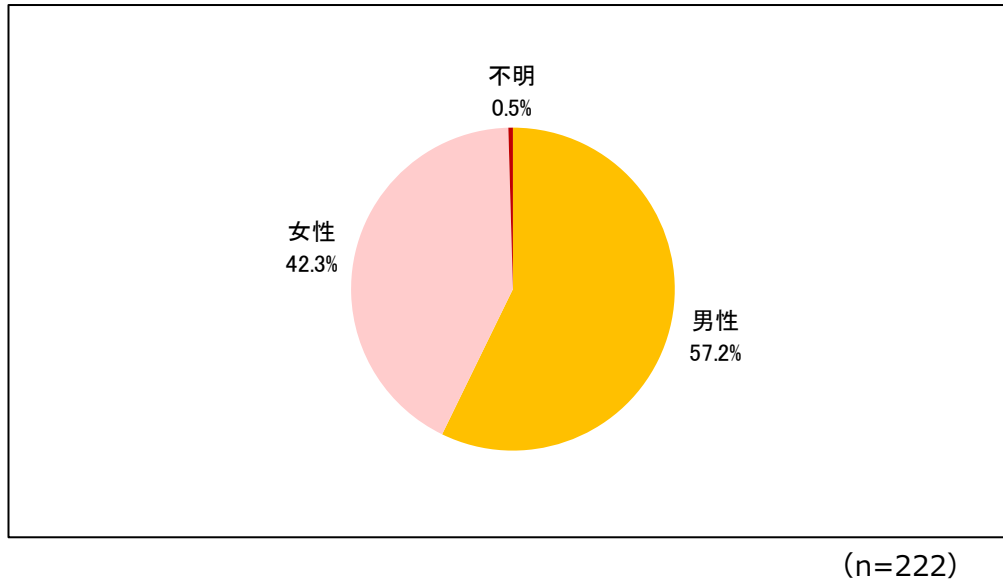
調査目的	転出者の転出理由や住居選択の条件、市の改善点について把握する
調査対象	稲沢市からの転出者
主な調査項目	<input type="checkbox"/> 転出前後の居住地・家族構成の変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引越し前後の居住地</li> <li>・ 引越し前後の家族構成</li> <li>・ 引越後の住居形態</li> </ul> <input type="checkbox"/> 転出理由・転出先の選択理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市外転出の理由</li> <li>・ 転出先を選んだ理由</li> <li>・ 転出時に探した物件</li> </ul> <input type="checkbox"/> 稲沢市での生活で不満だったこと
調査方法	対面による配布・回収
対象者の抽出方法	窓口にて転出手続きを行う転出者に対し、アンケートの回答を依頼
調査期間	2015年8月～
回答者数	222人（2015年9月8日現在まで回収したもの）
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転出者のうち窓口で手続きを行った人が回答したものであり、回答者数が転出者数と一致しないととも、回答者は転出者の代表性を担保したものにならない。</li> <li>・ 設問文末の記号について、「SA」は単回答、「MA」は複数回答、「NA」は数値記述、「FA」は自由記述となる。</li> <li>・ グラフ下の「n=〇」は該当する回答数を示す。</li> <li>・ 回答の集計は、選択肢の回答数を総回答数で除したものを%表記しているが、小数第2位を四捨五入しているため、各回答の合計が100%とならない場合がある。</li> </ul>

## (2) 調査結果

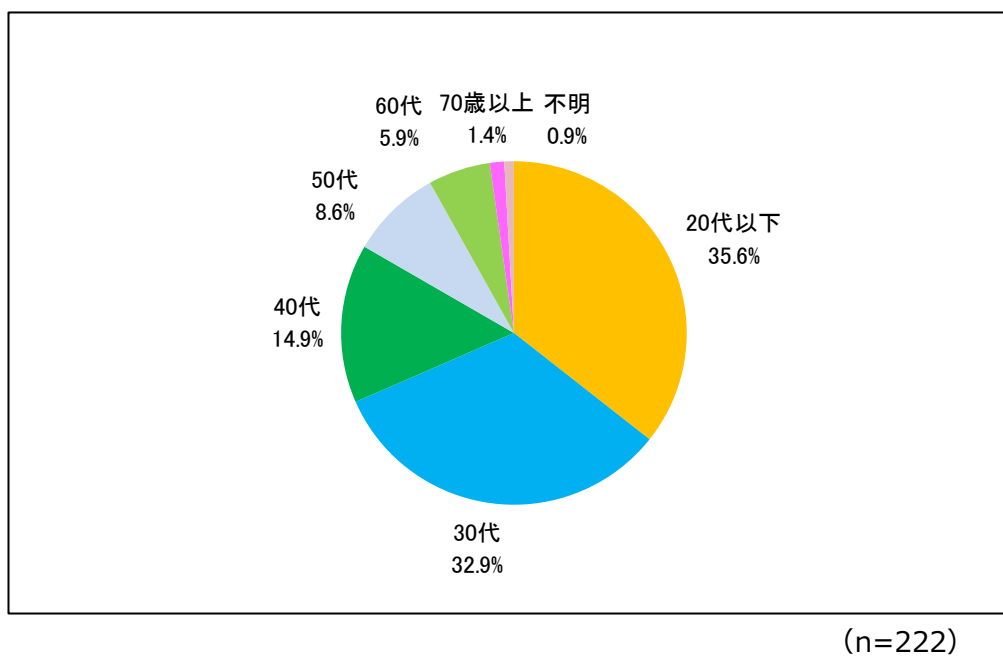
### ①回答者属性

本調査の回答者属性は以下のとおり。

問1 あなたの性別について教えてください。(SA)



問2 あなたの年齢について教えてください。(SA)



## ②調査結果

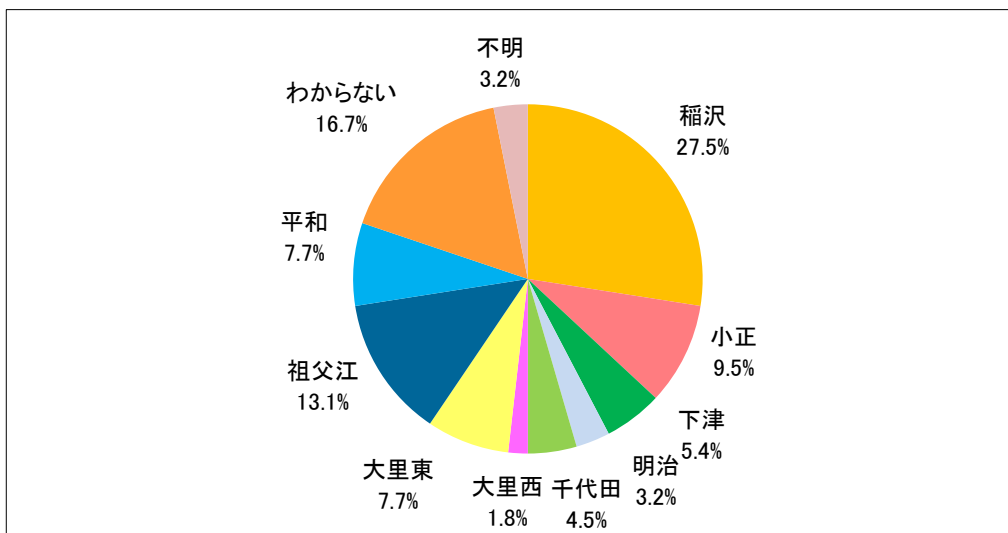
### 問3 転出先について教えてください。(SA)

転出前の居住地区を見ると「稲沢 (27.5%)」が他地区に比べ多くなっている。

また、転出先の地域を見ると、「愛知県外 (28.8%)」と「一宮市 (21.2%)」への転出が多い。転入者アンケートと比較すると、一宮市への転出は21.2%を占めるのに対し、一宮市からの転入者は6.9%となり、一宮市への転出傾向がうかがえる。

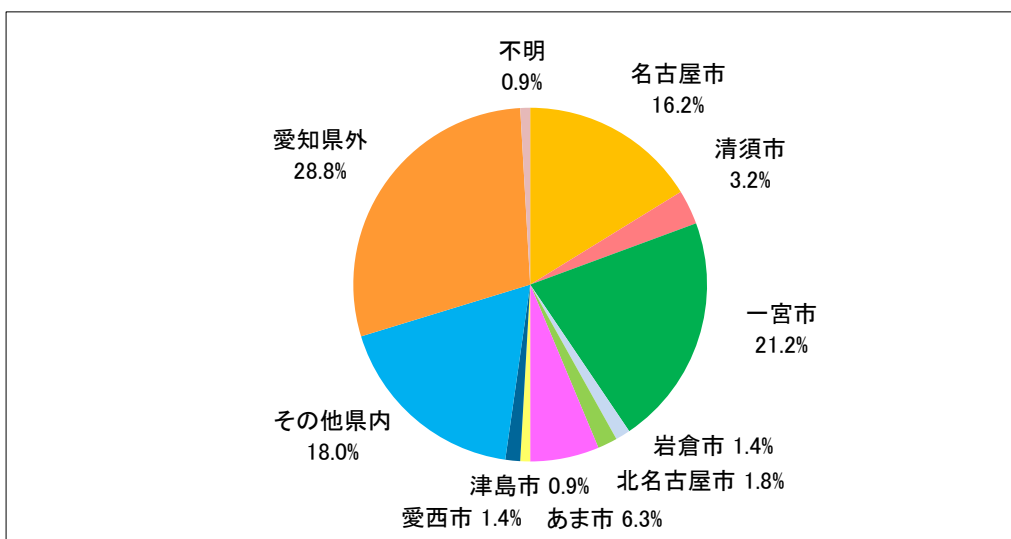
一方、転入元の地域を見ると、名古屋市や愛知県外の転入元に占める割合が、転出先に占める割合よりも高くなっており、当該地域から転入傾向がうかがえる。

【転出前】



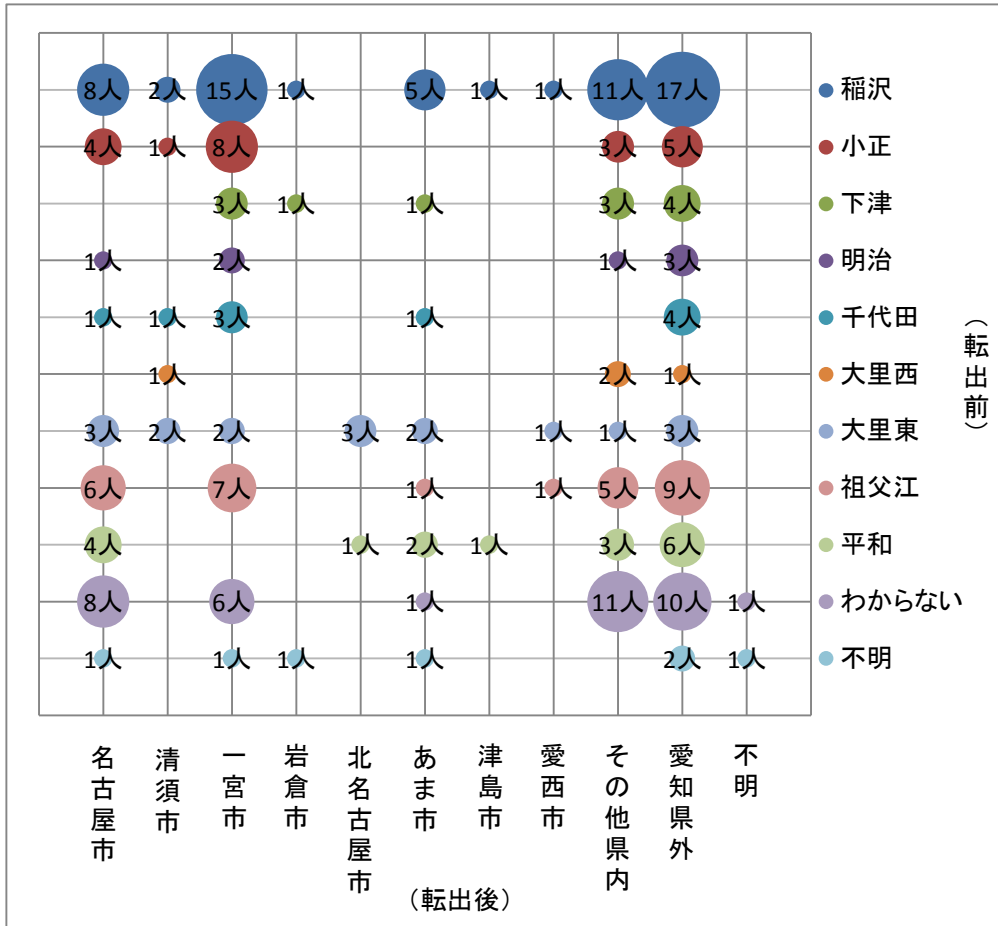
(n=222)

【転出後】



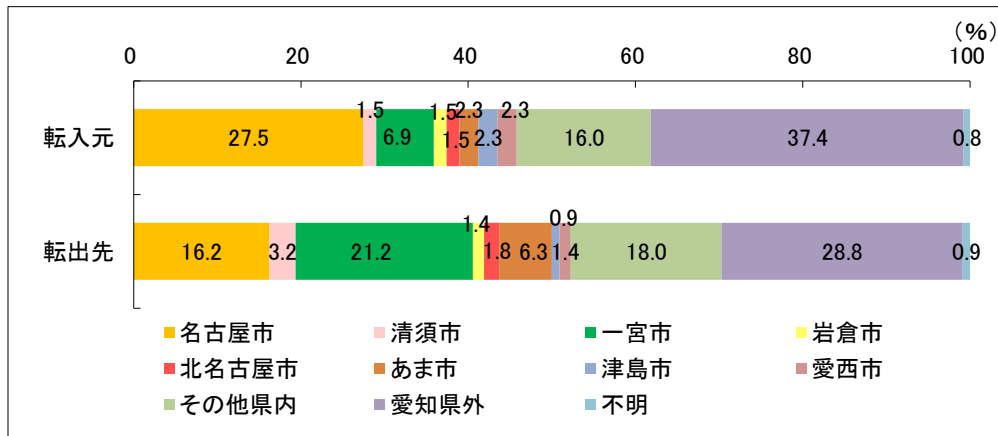
(n=222)

【転出前後比較】



(n=222)

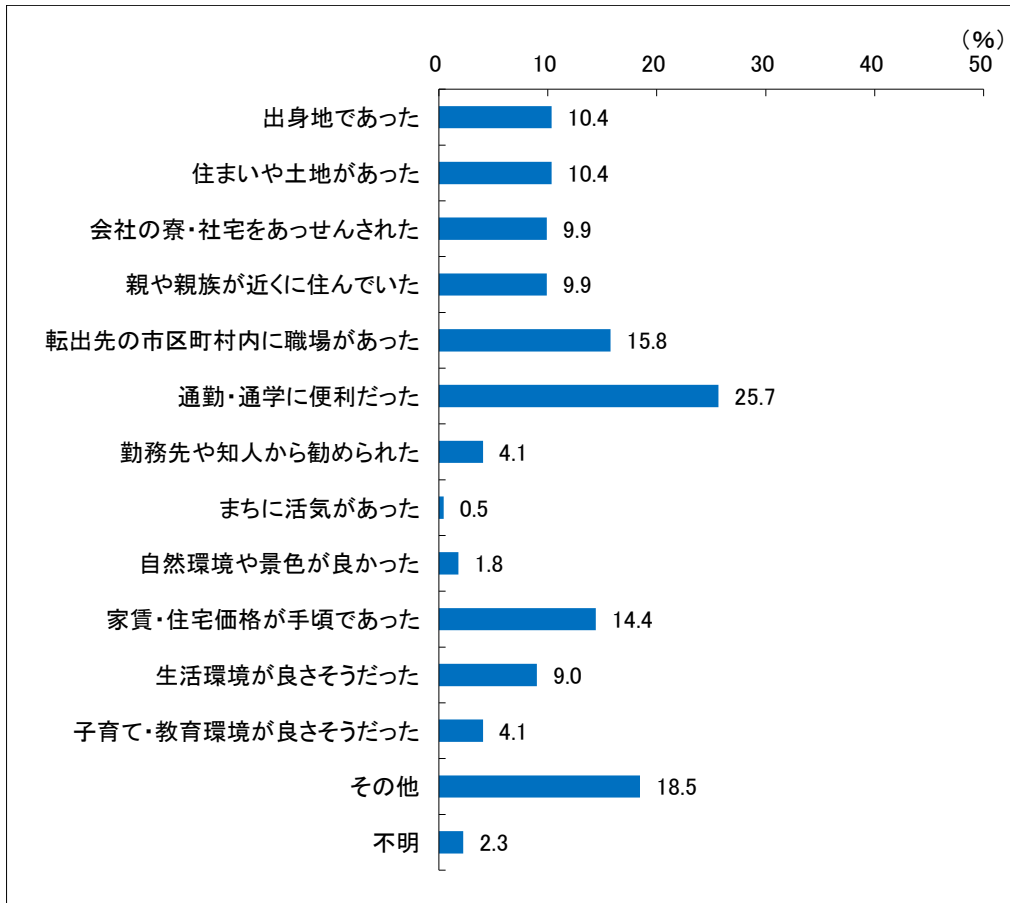
【転入元・転出先の市町村比較】



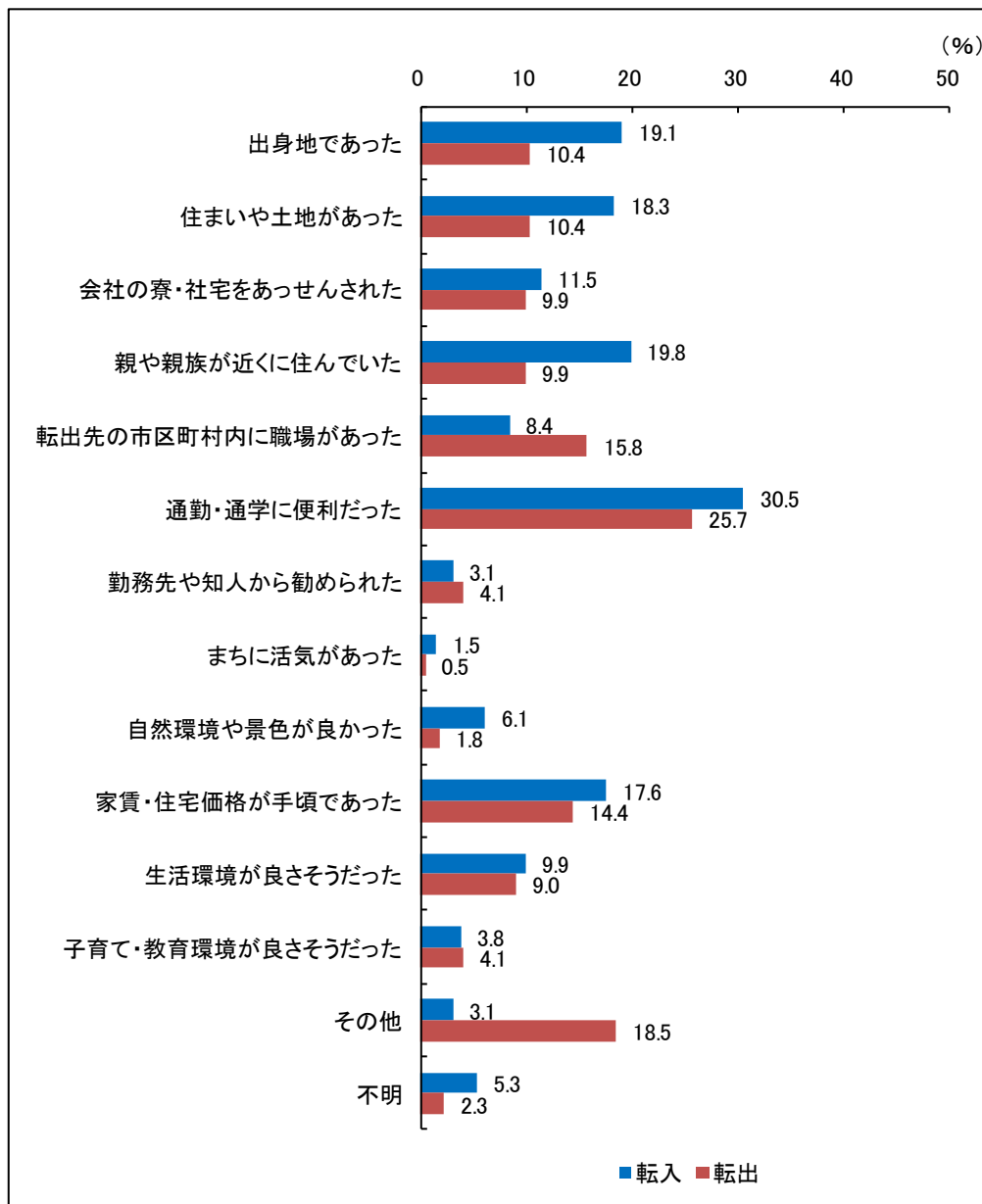
(転入元 : n=131、転出先 : n=222)

問4 その転出先を選んだ理由を教えてください。(MA：3つまで)

転出先の選択理由では、「通勤・通学に便利だった (25.7%)」が最も多く、類似する選択肢である「転出先の市区町村内に職場があった (15.8%)」にも一定の回答が集まっている。



【比較分析】転入者アンケートの、問9（稲沢市を転入先として選んだ理由を選んでください）と比較  
 転入理由と比較すると、ほとんどの項目において転入理由が転出理由を上回る。転出理由が上回る  
 のは、「転出先の市区町村内に職場があった」など、3項目に限られる。



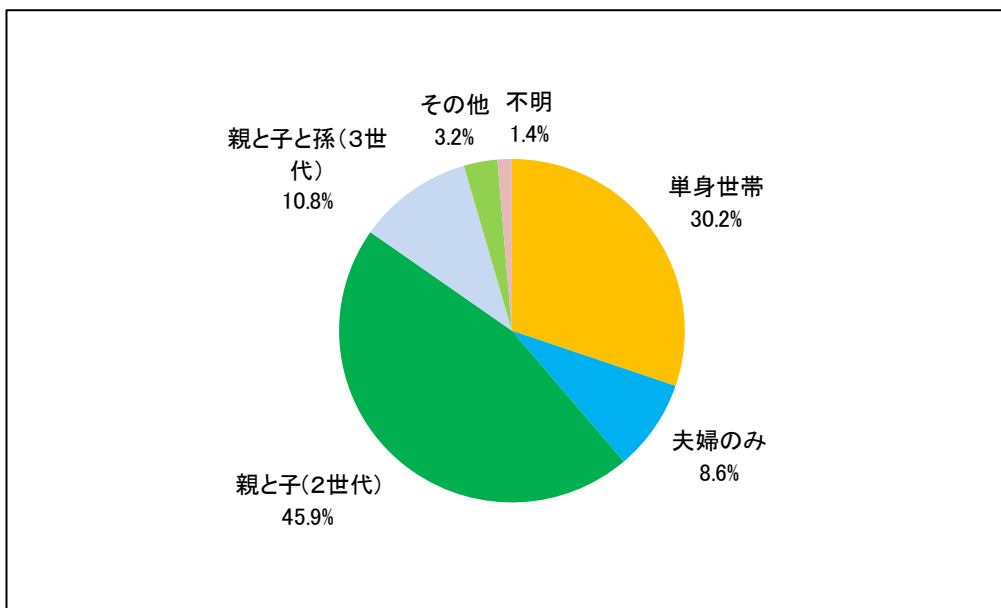
(転入前：n=131、転出後：n=222)

問5 引越し前後の家族構成は？ (SA)

転出の前後で家族構成の変化を見ると「夫婦のみ」において17.5ポイントの増加が見られ、「単身世帯」において6.0ポイントの増加が見られる。

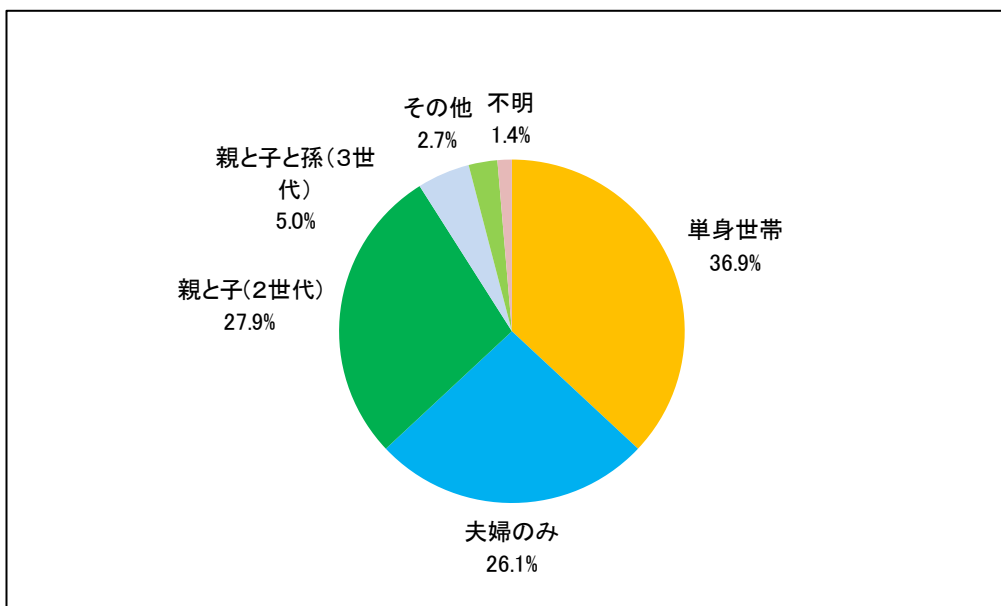
引越し前後で比較をすると、「単身世帯のまま(39世帯)」と、「親と子(2世代)」から「親と子(2世代)(34世帯)」「夫婦のみ(31世帯)」「単身世帯(28世帯)」といったものが主立った家族構成の変化となっている。すなわち、就職や転勤、結婚がきっかけになっていると推測できる。

【転出前】



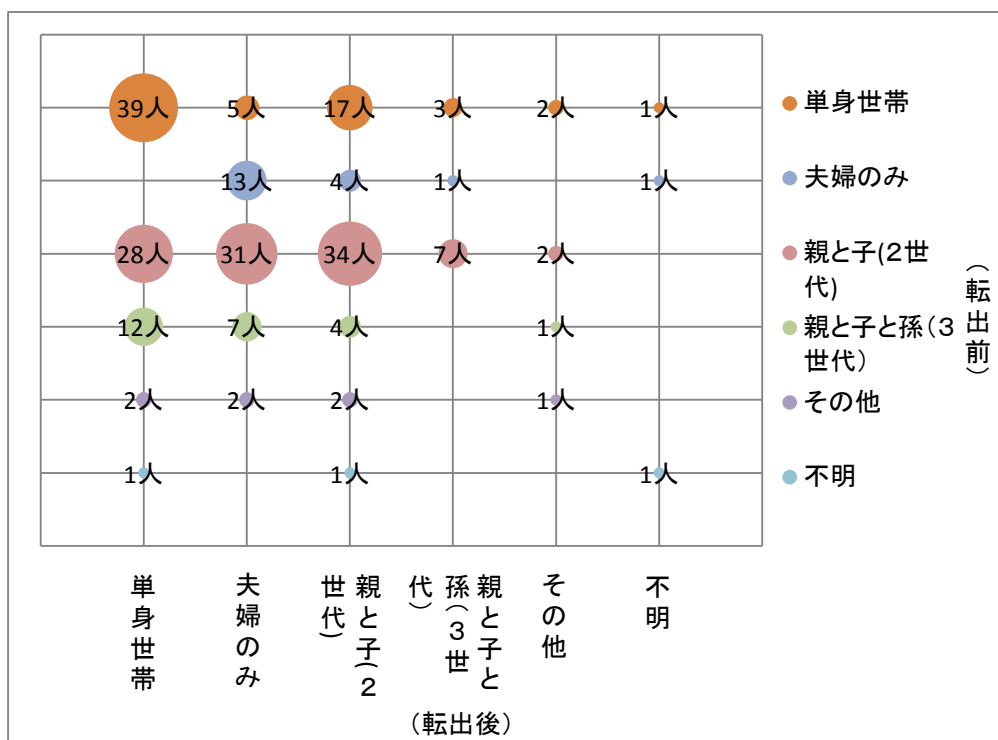
(n=222)

【転出後】



(n=222)

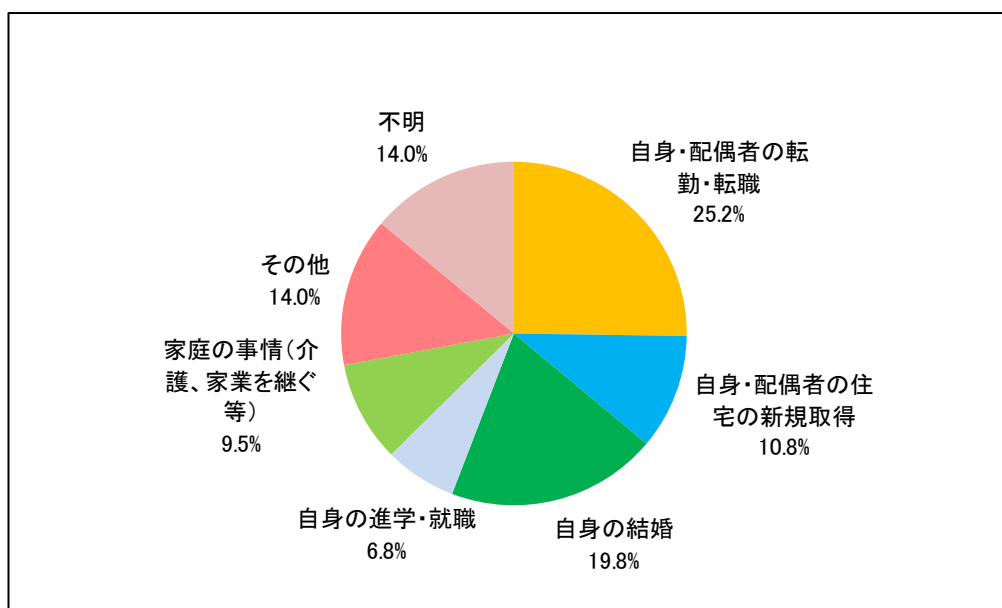
【転出前後比較】



(n=114)

問6 あなたが市外に転出するきっかけは何ですか。(SA)

転出のきっかけでは、「自身・配偶者の転勤・転職 (25.2%)」と「自身の結婚 (19.8%)」、そして「自身・配偶者の住宅の新規取得 (10.8%)」による動きが目立つ。



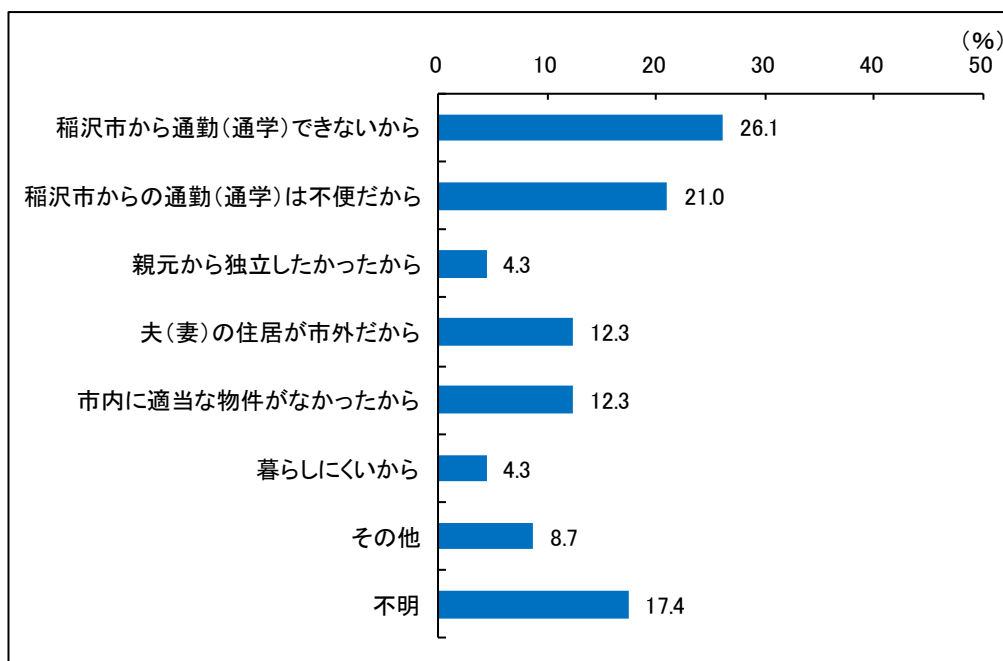
(n=222)



【回答者限定設問】 問6で「1 自身・配偶者の転勤」から「4 自身の進学・就職」を選択した方のみ

問7 なぜ稲沢市から転出するのですか。(MA: 2つまで)

問6で転職・結婚・住宅取得・進学を転出理由に挙げた回答者の多くは、「稲沢市から通勤(通学)できないから(26.1%)」、「稲沢市からの通勤(通学)は不便だから(21.0%)」といった、稲沢市からの通勤事情を転出の理由に挙げている。



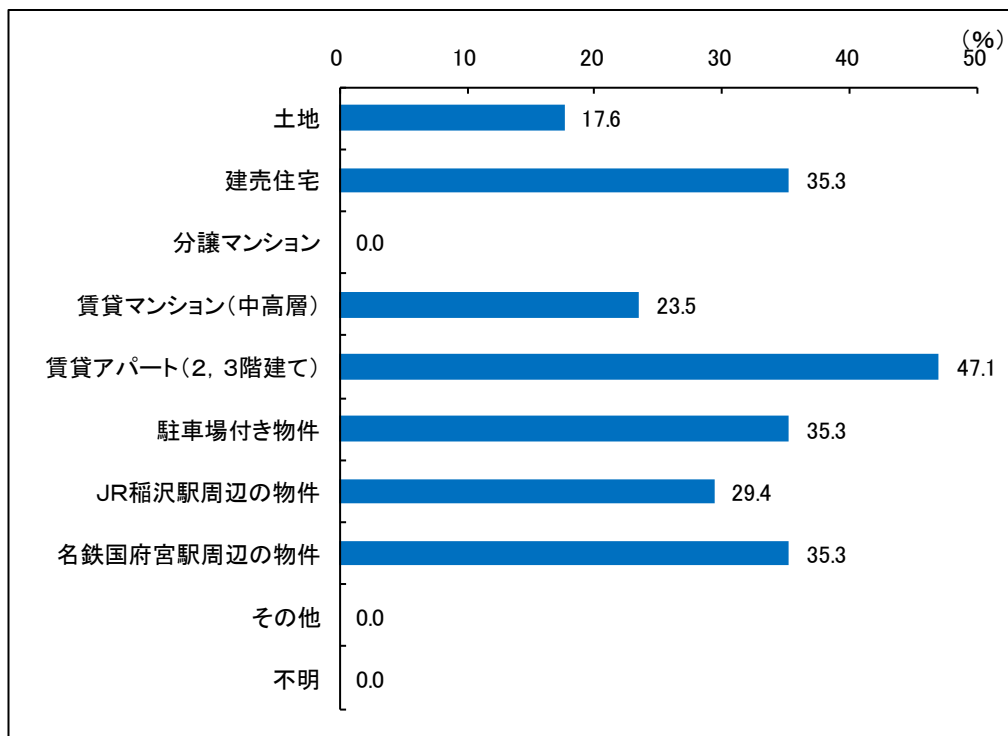
(n=138)

【回答者限定設問】 問6で「1 問7で「5 市内に適切な物件がなかったから」を選択した方のみ

問8 どのような物件を探していましたか。(MA: 当てはまるもの全て)

問7で市内に適切な物件がなかった転出者は、住宅タイプで見ると「賃貸アパート(47.1%)」と「建売住宅(35.3%)」が高い割合を占めている。また、同じ賃貸でも、「賃貸マンション(中高層)(23.5%)」よりも、「賃貸アパート(47.1%)」のニーズが高いことがうかがえる。

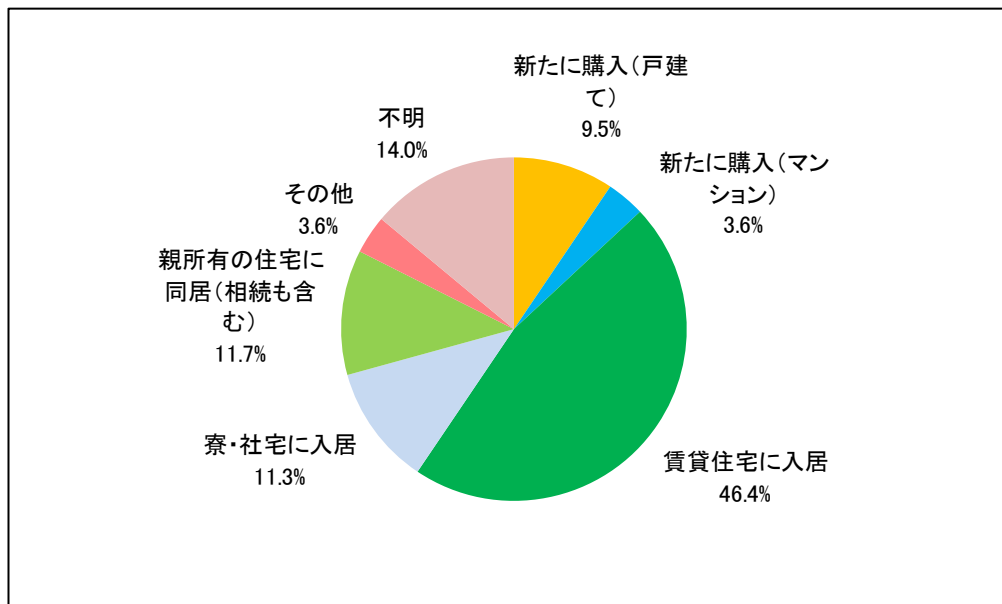
物件条件の視点では、「駐車場付き物件(35.3%)」「JR稲沢駅周辺の物件(29.4%)」「名鉄国府宮駅周辺の物件(35.3%)」のいずれも約3割の回答があり、一定のニーズが存在することがうかがえる。



(n=17)

問9 転出後のお住まいの形態は何ですか。(SA)

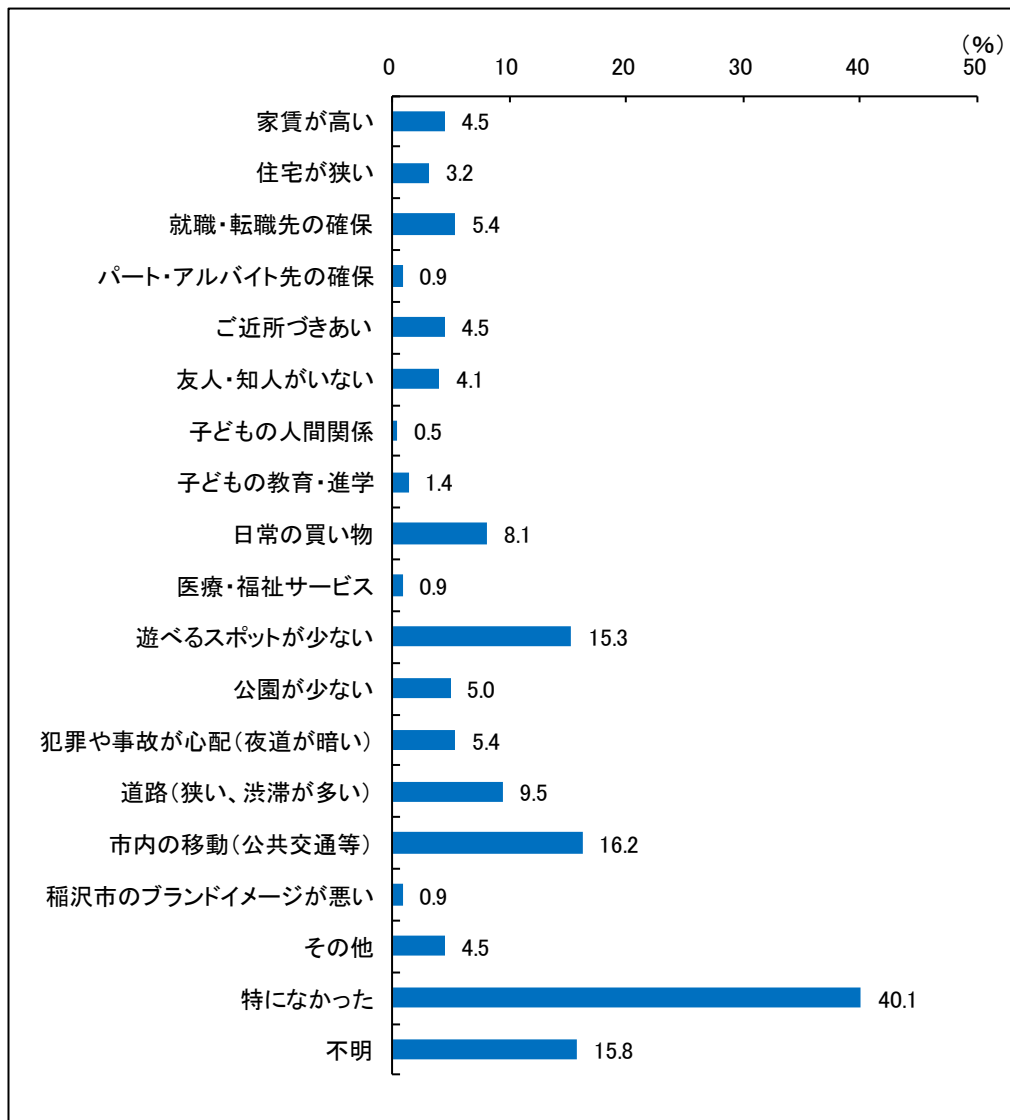
転出後、約半数の転出者が「賃貸住宅に入居（46.4%）」している。一方、新規での住宅購入は全体の1割程となっている（戸建てで9.5%、マンションで3.6%）。



(n=222)

問 10 稲沢市での生活で不満だったことは何ですか。(MA: 3 つまで)

市の生活で不満だったことに対し、「特になかった (40.1%)」が最も多い回答となった。一定の回答割合がある項目としては、「市内の移動 (公共交通等) (16.2%)」「道路が狭い (9.5%)」といった道路交通分野や「遊べるスポットが少ない (15.3%)」、「日常の買い物 (8.1%)」といった商業分野の項目が挙げられる。



(n=222)

## 稲沢市 転入する方へのアンケート調査【速報】

### (1) 調査概要

本調査は、稲沢市からの転入者に対し、転入前後での居住地や家族構成の変化、転入理由、転入先の選択理由を把握するために実施する。

調査の概要は下表のとおり。

稲沢市 転入する方へのアンケート調査の概要

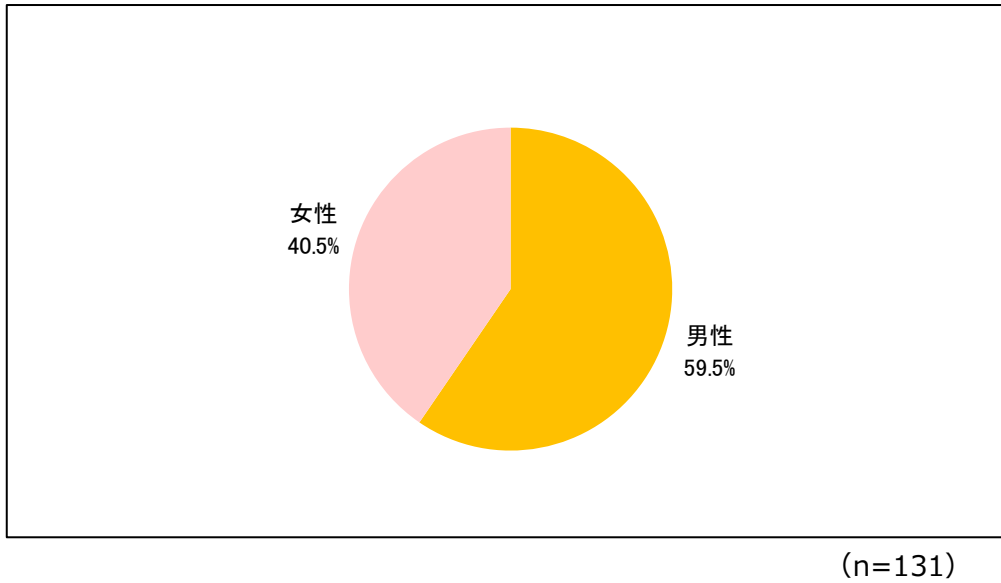
調査目的	転入者の転出理由や住居選択の条件、市の改善点について把握する
調査対象	稲沢市からの転出者
主な調査項目	<input type="checkbox"/> 転入前後の居住地・家族構成の変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引越し前後の居住地</li> <li>・ 引越し前後の家族構成</li> <li>・ 引越後の住居形態</li> </ul> <input type="checkbox"/> 転入理由・転入先の選択理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内転入の理由</li> <li>・ 稲沢市を転入先に選んだ理由</li> <li>・ 転入後の住宅に関する評価</li> </ul> <input type="checkbox"/> 稲沢市での生活で不安なこと
調査方法	紙面アンケート
対象者の抽出方法	窓口にて転入手続きを行う転入者に対し、アンケートの回答を依頼
調査期間	2015年8月～
回答者数	131人（2015年9月8日現在までに回収したもの）
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転出者のうち窓口で手続きを行った人が回答したものであり、回答者数が転出者数と一致しないととも、回答者は転出者の代表性を担保したものにならない。</li> <li>・ 設問文末の記号について、「SA」は単回答、「MA」は複数回答、「NA」は数値記述、「FA」は自由記述となる。</li> <li>・ グラフ下の「n=〇」は該当する回答数を示す。</li> <li>・ 回答の集計は、選択肢の回答数を総回答数で除したものを%表記しているが、小数第2位を四捨五入しているため、各回答の合計が100%とならない場合がある。</li> </ul>

## (2) 調査結果

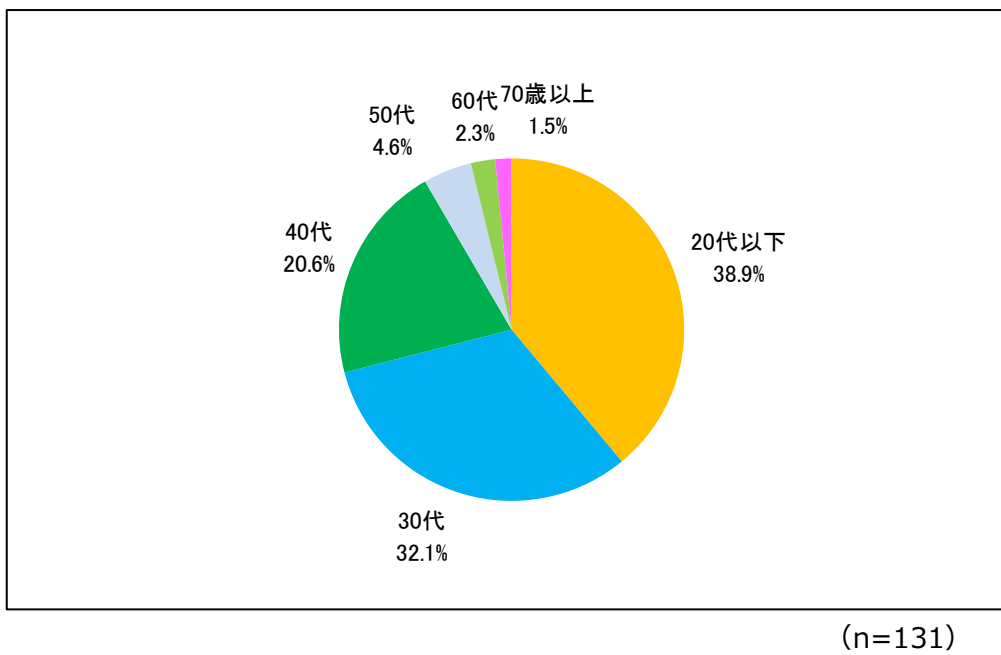
### ①回答者属性

本調査の回答者属性・回答結果は以下のとおり。

問1 あなたの性別について教えてください。(SA)



問2 あなたの年齢について教えてください。(SA)

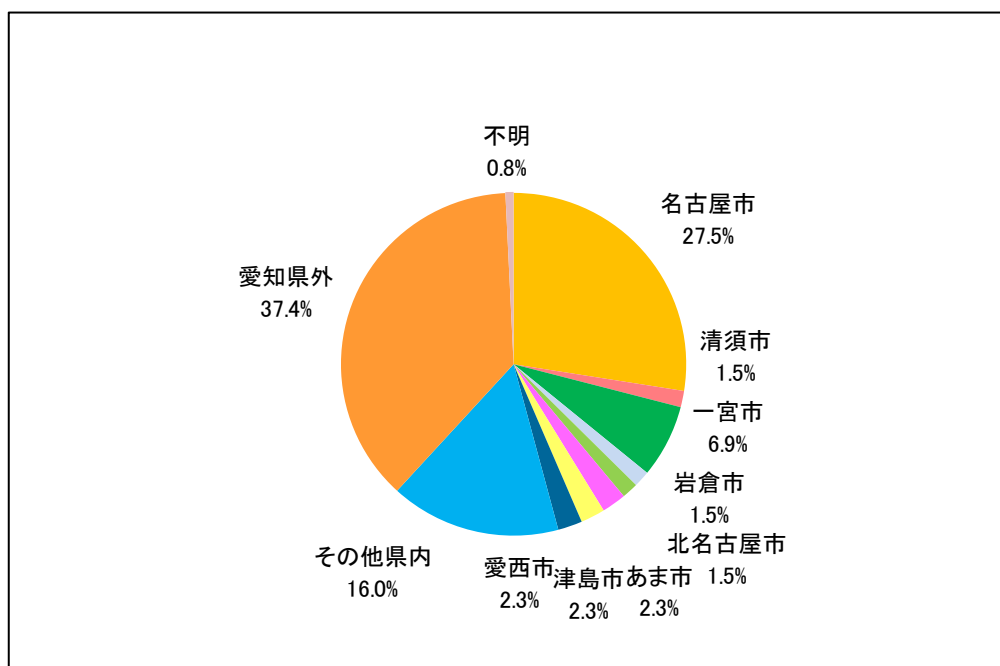


## ②調査結果

問3 転入先について教えてください。(SA)

転入前の居住地では「愛知県外 (37.4%)」と「名古屋市 (27.5%)」の割合が高くなっている。

【転入前】



(n=131)

【転入後】

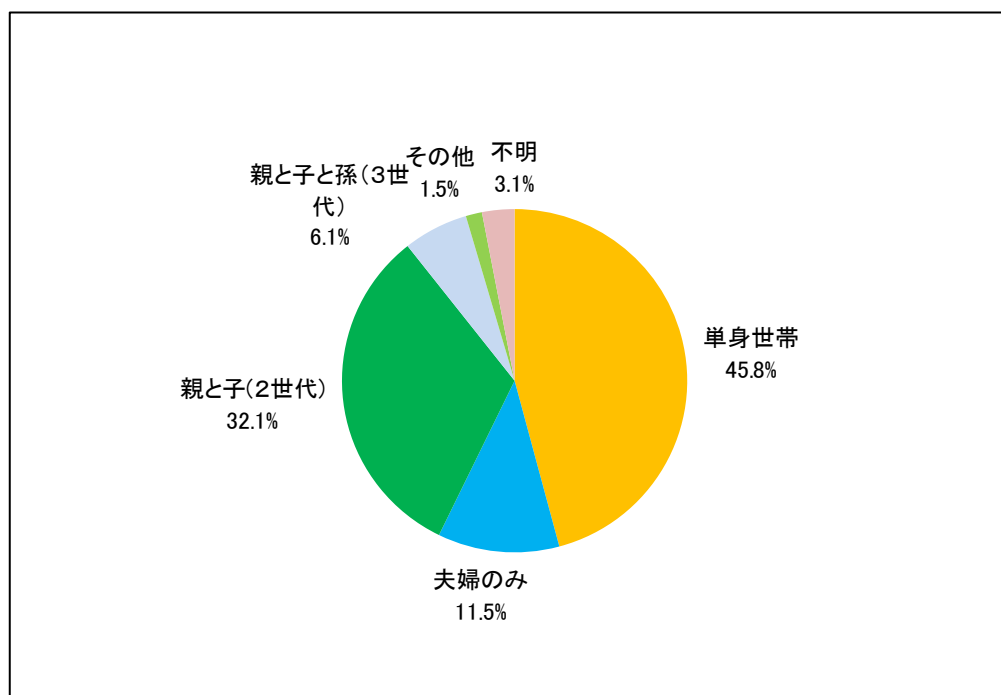
(追って収集)

問4 引越し前後の家族構成は？（S A）

転入の前後に共通して多い家族形態は、「単身世帯」「親と子（2世代）」となっている。転入の前後を比較すると、「夫婦のみ」の家族形態が、11.5%から19.1%へと7.6ポイント増加しており、結婚を理由に転入する人の存在がうかがえる。

引越し前後で比較をすると、「単身世帯のまま(26世帯)」が主立った家族構成の変化となっている。

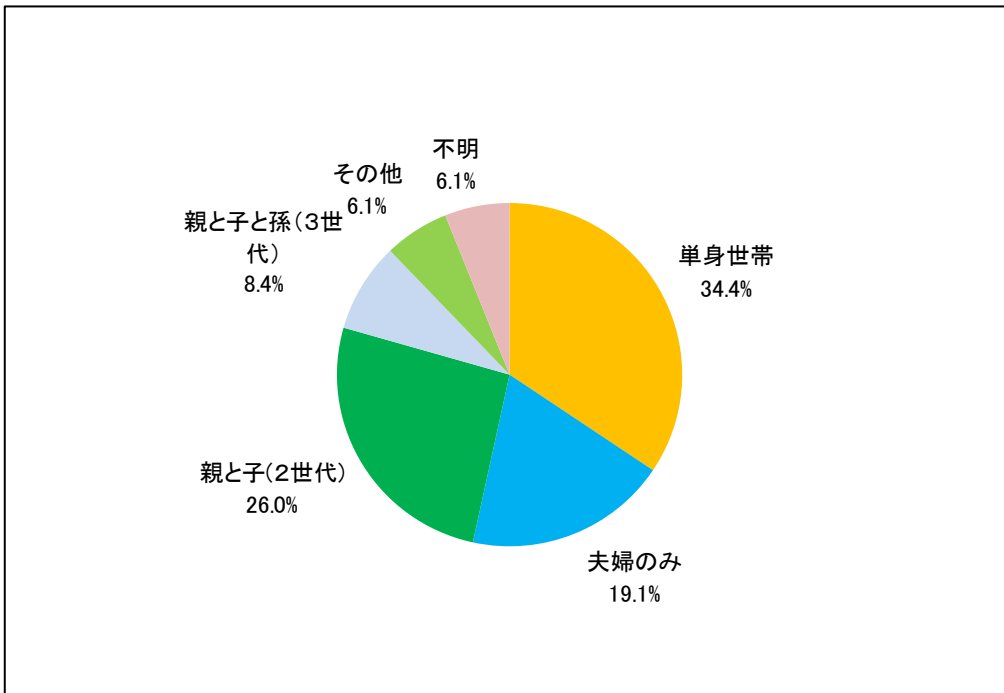
【転入前】



(n=131)

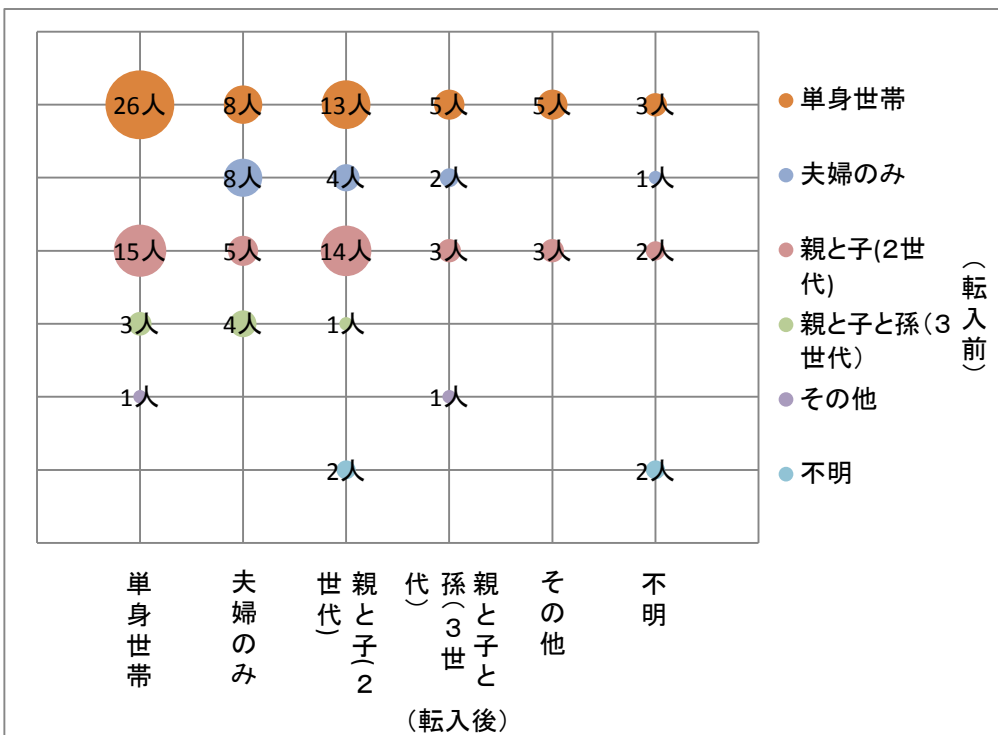


【転入後】



(n=131)

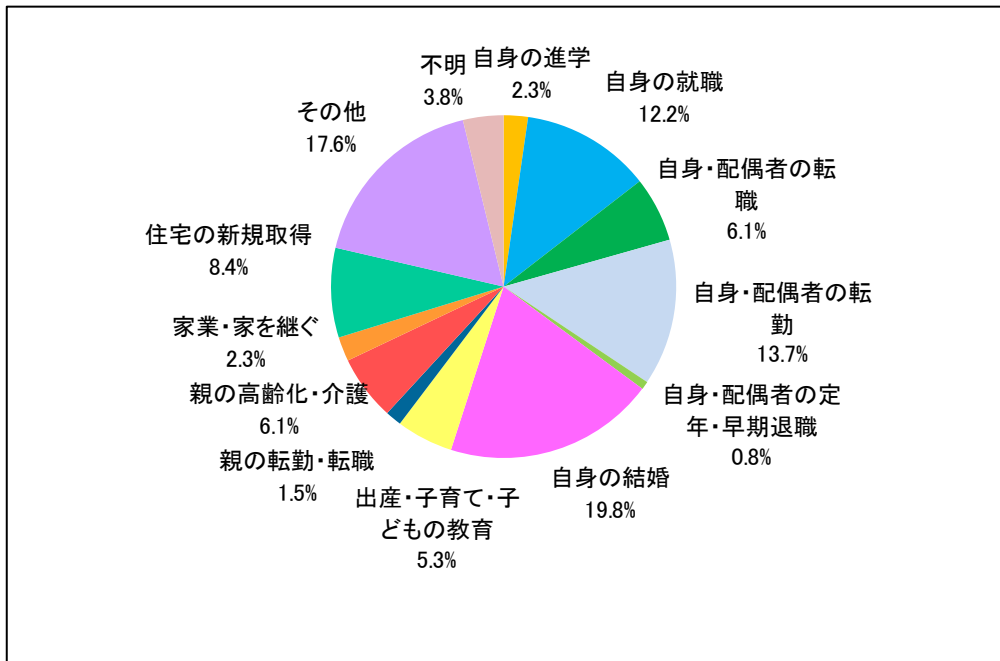
【転入前後比較】



(n=93)

問5 あなたが稲沢市に転入したきっかけは何ですか。(SA)

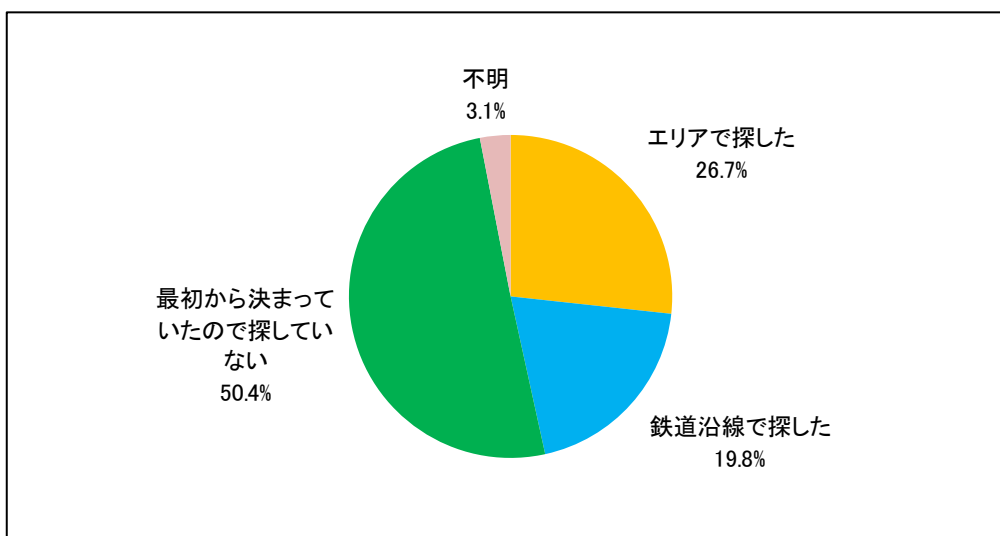
転入のきっかけでは、「自身の結婚 (19.8%)」と「自身・配偶者の転勤 (13.7%)」、そして「自身の就職 (12.2%)」による動きが目立つ。



(n=131)

問6 お住まいはどのように探しましたか。(SA)

住まいを探すにあたり、「最初から決まっていた (50.4%)」転入者が約半数となっている。残りの転入者は、「エリアで探した (26.7%)」「鉄道沿線で探した (19.8%)」に回答が分かれている。

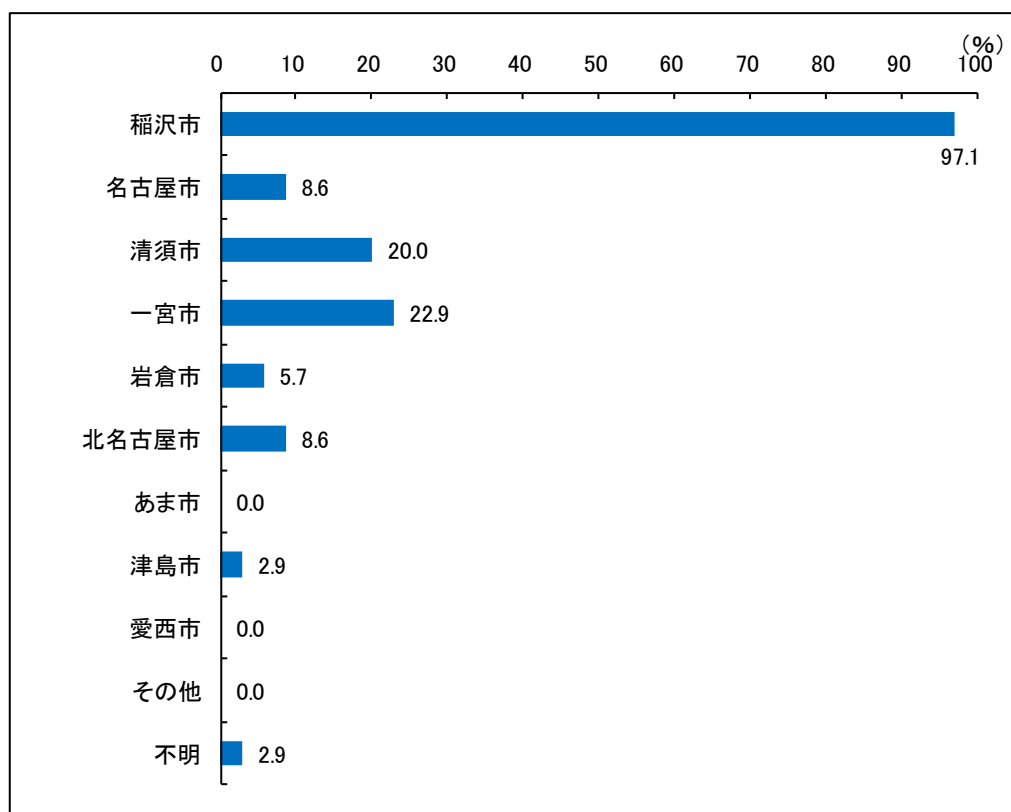


(n=131)

【回答者限定設問】 問6で「1 エリアで探した」を選択した方のみ

問7 どの地域を候補地として検討しましたか。(MA:当てはまるもの全て)

エリアで住まいを探した転入者は、稲沢市が97.1%あり、当初から稲沢市を転入先として選択している。稲沢市以外では「一宮市(22.9%)」や「清須市(20.0%)」を候補地として検討した転入者が約2割程度存在する。

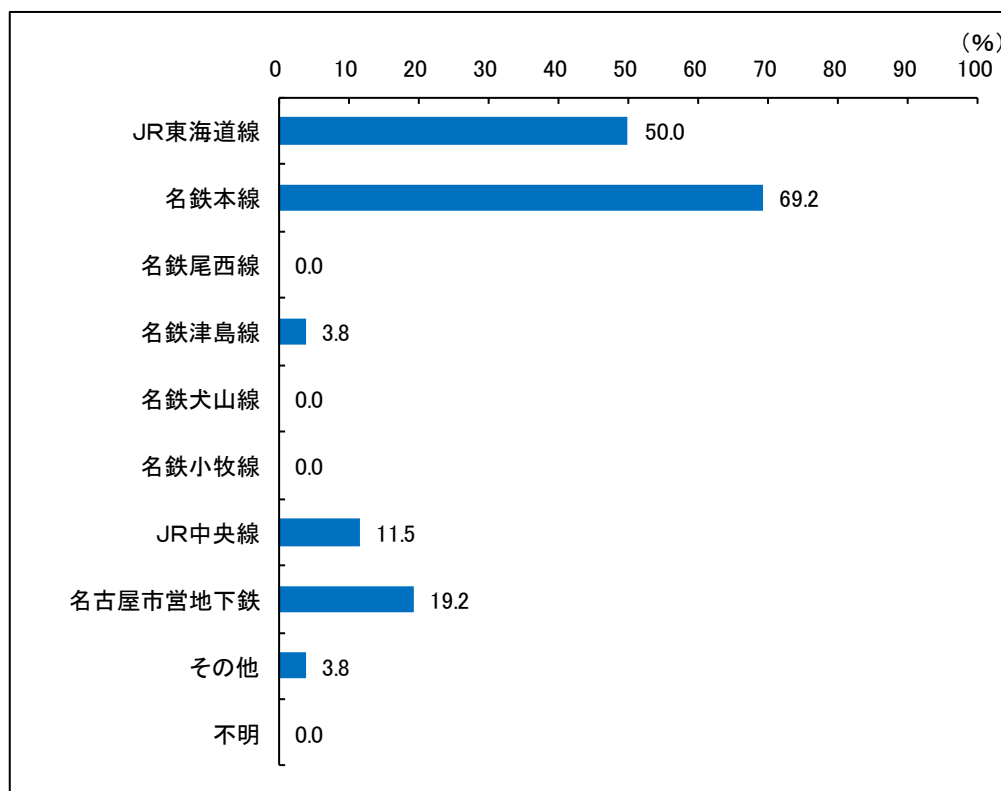


(n=35)

【回答者限定設問】 問6で「1 エリアで探した」を選択した方のみ

問8 どの沿線を候補地として検討しましたか。(MA：当てはまるもの全て)

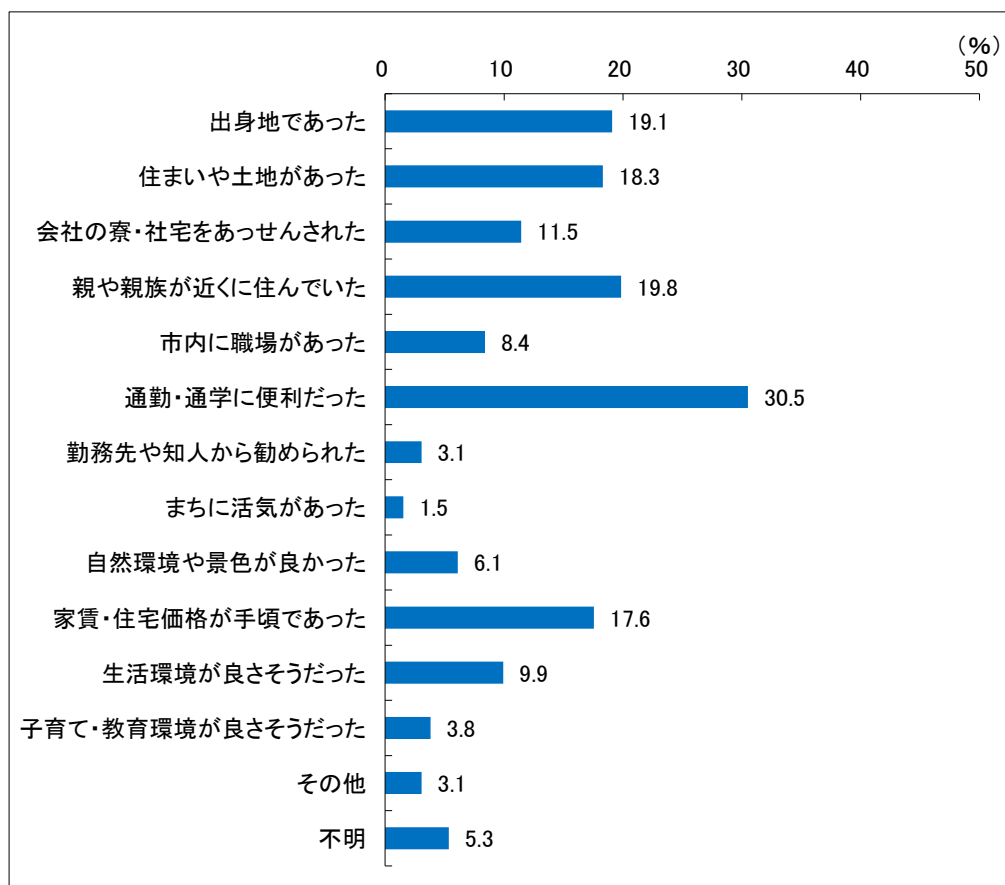
沿線で住まいを探した転入者は、「名鉄本線 (69.2%)」「JR 東海道線 (50.0%)」を居住候補地としている。また、「名古屋市営地下鉄 (19.2%)」の回答割合も約2割存在しているが、地価・家賃が高いために、稲沢市を選択することになったと推測される。



(n=26)

問9 稲沢市を転入先として選んだ理由を選んでください。(MA：3つまで)

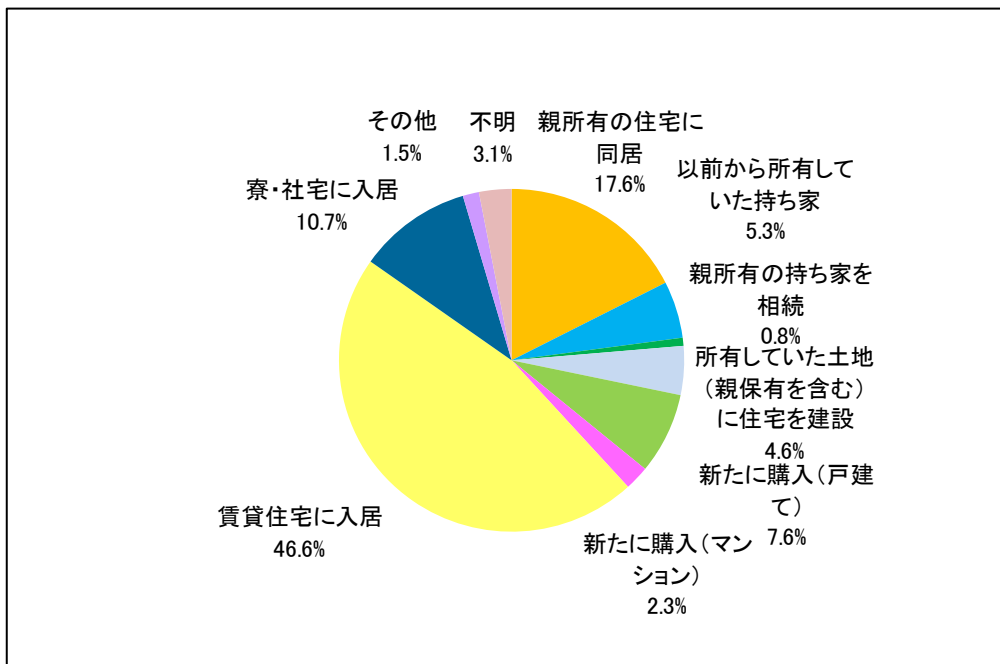
稲沢市を転入先に選ぶ理由では「通勤・通学に便利だった(30.5%)」が最も多く挙げられている。次いで、「親や親族が近くに住んでいた(19.8%)」、「出身地であった(19.1%)」、「住まいや土地があった(18.3%)」という地縁や、「家賃・住宅価格が手頃であった(17.6%)」という経済性を理由に挙げる回答が多かった。



(n=131)

問 10 お住まいはどのように確保しましたか。(S A)

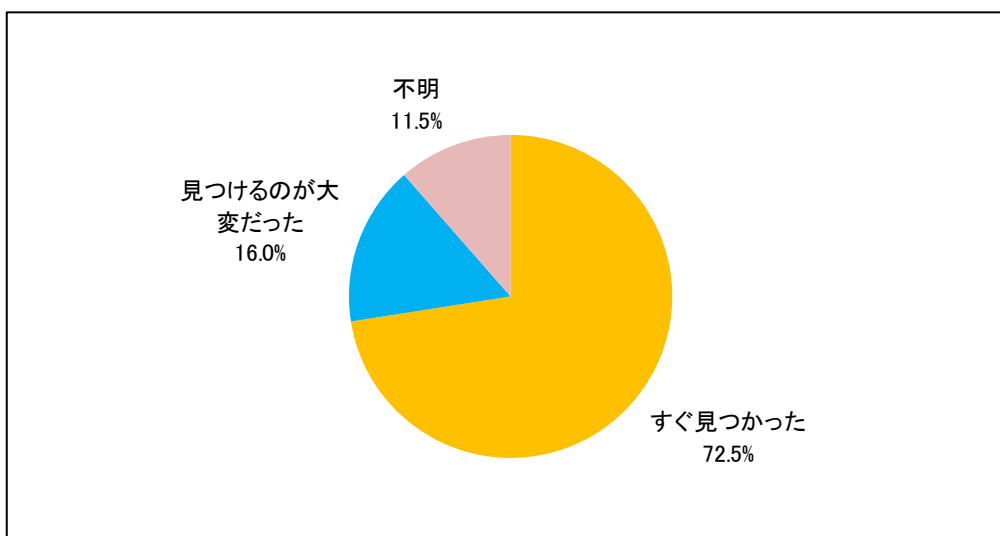
「賃貸住宅に入居 (46.6%)」する転入者が半数近くを占めている。次いで「親所有の住宅に同居 (17.6%)」する転入者が多い。新たに住宅を購入した転入者は、全体の約 1 割 (戸建て購入が 7.6%、マンション購入が 2.3%) となっている。



(n=131)

問 11 お住まいは容易に見つかりましたか。(S A)

稲沢と何らかの関係があった上で転入してくる転入者が一定数存在している影響もあり、住まいを容易に見つけた回答が 7 割と多くを占めている。

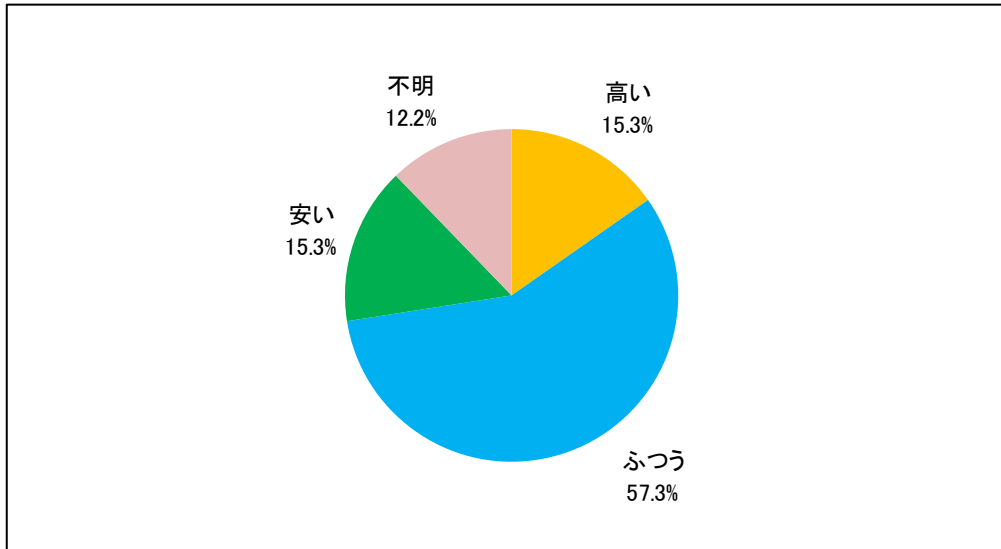


(n=131)

問 12 お住まいに対して、どのように評価していますか。(S A)

(1) 価格・家賃

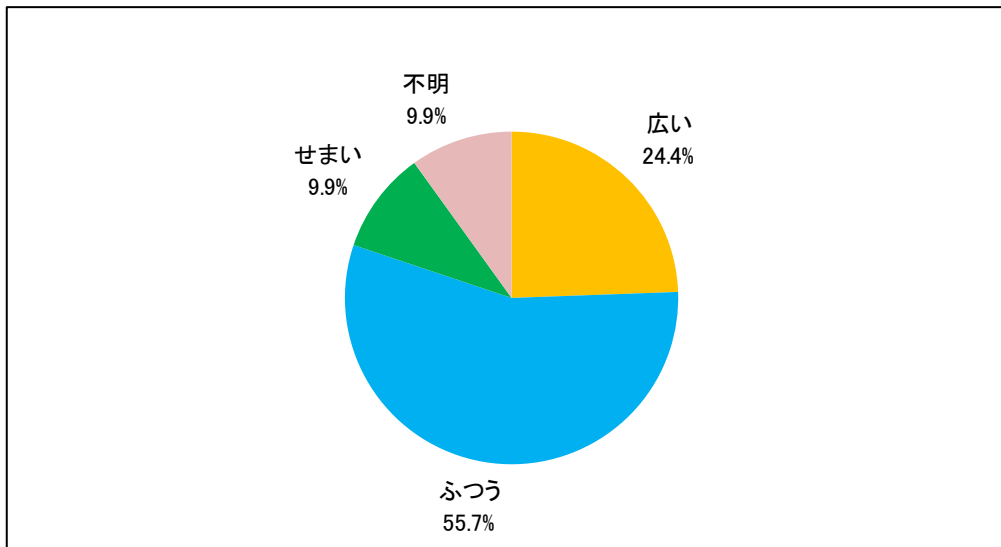
「ふつう (57.3%)」の評価が過半数を占めている。住まいの価格・家賃を高いと評価する回答割合と、安いと評価する回答割合は同じとなっている。



(n=131)

(2) 住宅の広さ

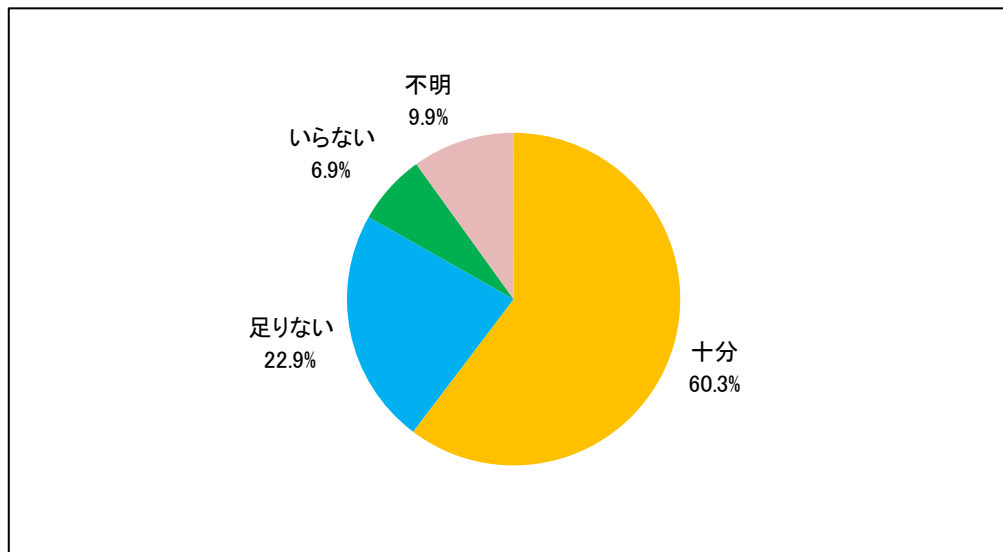
「ふつう (55.7%)」の評価が過半数を占めている。また、「広い (24.4%)」という回答が、「せまい (9.9%)」という回答よりも多くなっている。



(n=131)

### (3) 駐車場

住まいの駐車場に関する評価では、「十分 (60.3%)」という回答が6割に達している一方で、「足りない (22.9%)」という回答が、全体の4分の1近くを占めている。

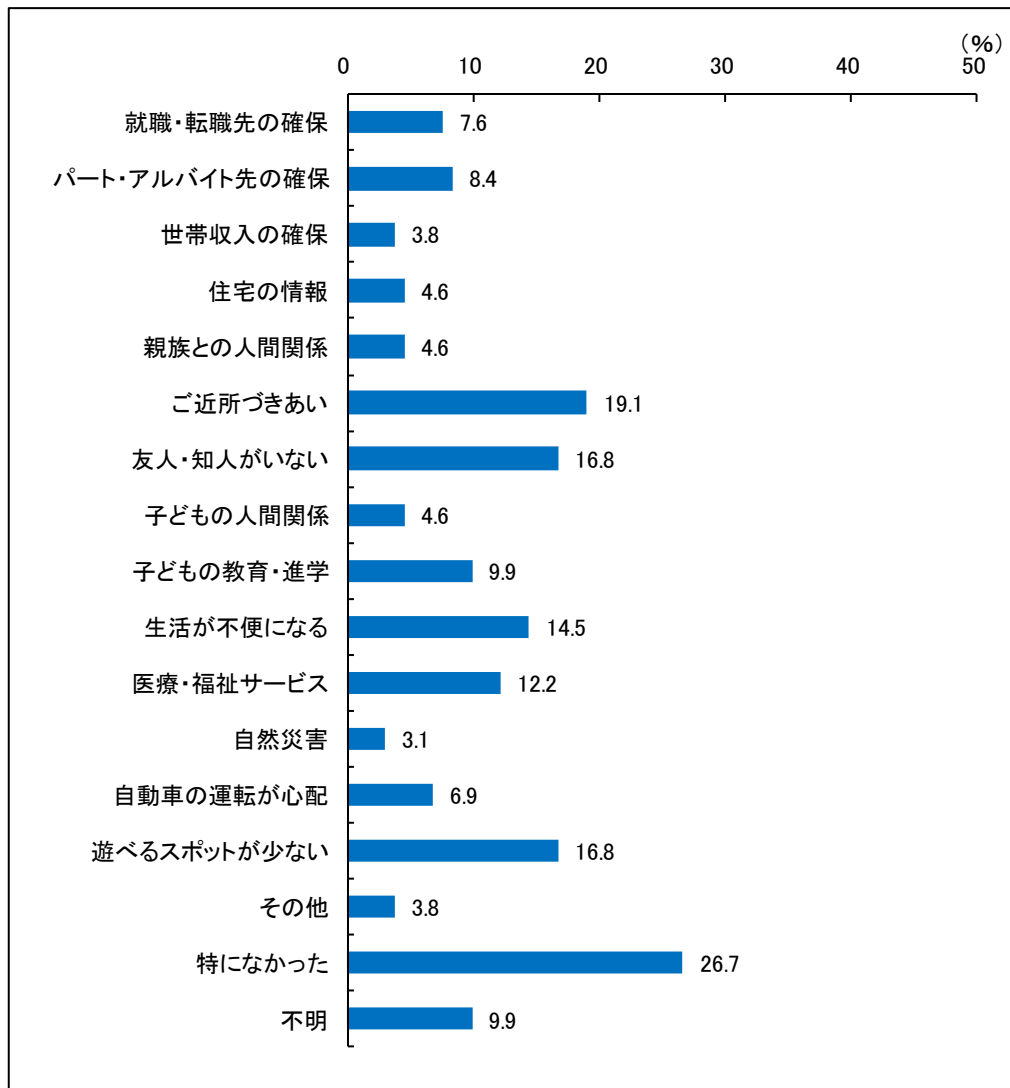


(n=131)



問 13 稲沢市に転入するにあたり不安だったことは何ですか。(M A : 3つまで)

転入時の不安としては「特になかった(26.7%)」の回答が最も多い。次いで「ご近所づきあい(19.1%)」「友人・知人がいない(16.8%)」といった、人間関係を不安視する回答が多い。また、「遊べるスポットが少ない(16.8%)」、「生活が不便になる(14.5%)」、「医療・福祉サービス(12.2%)」といった、暮らしに関する項目について一定の回答割合がある。



(n=131)